

全世界「『学校体育』課題別研修」

2022年9月～2024年2月



研修員の小学校体育視察の様子

背景/課題

UNESCO「体育とスポーツに関する国際憲章」が掲げる通り、体育・スポーツへのアクセスは万人の基本的権利である。体育教育は9割以上の国で必修科目とされている一方、実施状況には格差があり、特に途上国では、体育教育の重要性に係る認識の低さ、指導人材や施設の不足等の課題を抱えている。本研修は、日本の政策・施策や経験を参照しつつ各国の活動計画案について策定することを通して、体育教育の一層の普及と質の向上を目指す。

目的

- 各国の学校体育の現状・課題が整理され、研修員が学校体育の質の向上につながる指導案(単元計画と授業計画)の作成方法を習得する。

活動内容

- 来日研修:日本の学校体育(世界と日本の学校体育、各教育モデルの実践等)、日本の教師教育(研究授業と授業分析)、授業づくり(単元計画・指導案の作成方法)
- 遠隔研修(フォローアップ):研修員からの指導案実施報告、講師によるフィードバック

成果

- 参加国の学校体育の現状・課題を理解・共有
- 日本の教育政策および学校体育の質の向上に係る取組みを理解
- 代表国における指導実践の共有を通じて、参加国における学校体育の質の向上に繋がる指導案の作成方法を習得